

EDIUS[®] Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

リリースノート

Software Version 7.31b2939 (2014 年 7 月版)

機能追加

- SONY XAVC フォーマットファイルのエクスポートに対応しました。

*機能追加は EDIUS 7.31b962 での変更項目です。

更新履歴(b2939 不具合修正項目)

以下の不具合を修正しました。

- 4 時間を超える長さの XDCAM MXF クリップをプレーヤーウィンドウにロードすると、再生可能状態になるまでに時間がかかる。
- 1280x720 / 23.98p プロジェクトを Blu-ray ディスクに書き込もうとすると「エンコードに失敗しました」エラーが発生する。
- タイムラインを素材にして DVD を作成すると、DVD のチャプターポイントがタイムラインのシーケンスマーカの位置と異なる。
- ECW(Effect Control Window)でタイムコードをキーボードで指定してもタイムラインカーソルが指定位置へ移動しない。
- オフラインクリップの復元をすると以下の情報が消失する。
 - クリップ名
 - クリップコメント
 - クリップカラー
 - クリップマーカ
 - オーディオラバーバンド(音量、パン)
 - タイムラインでのクリップの有効・無効
- Audio CD/DVD インポーター設定でベースファイル名を変更しても [適用] ボタンがクリックできない。
- 1ch オーディオのデバイスプリセットが作成できない。

更新履歴(b1540 不具合修正項目)

以下の不具合を修正しました。

- タイムラインでクリップをカットした後、エフェクトパレット内のいずれかのエフェクトを選択すると EDIUS がフリーズすることがある。
- ストリームデータが正しくない MP4 ファイルを読み込むと EDIUS が強制終了する。
- オートセーブされたプロジェクトファイルが読み込めない。
- EDIUS システム設定で SNFS 帯域制限を有効にした状態でタイムラインをスクラブすると強制終了する(Elite のみ)。
- K2 Clip としてキャプチャすると、正しくないタイムコードがキャプチャファイルに打ち込まれる(HDWS/Elite シリーズのみ)。
- CMX3600 EDL ファイルをインポートすると、すべてのクリップの開始タイムコードが素材の開始タイムコードと同じになる。

- パラメトリックイコライザーで OK ボタンを押す度に中心周波数が 5Hz 上がる。
- GenArts Sapphire エフェクトのプリセットをロードして EDIUS のブラーエフェクトダイアログに戻るとダイアログ内の OK ボタンが表示されなくなる。
- プロジェクト設定でオーディオトラック数を 2ch に設定して編集、HDCAM テープに書き出すと、3ch 以降に同じ音声記録される(1ch の内容は奇数チャンネルに、2ch の内容は偶数チャンネルに記録される) (HDWS/Elite シリーズのみ)。
- Magic Bullet Looks 2.5 のエフェクトが適用できない。
- SONY Vegas で出力した AAF を読み込むとランタイムエラーが発生する。
- EDIUS で出力した AVC-Intra スパンドクリップが Avid Media Composer で正しく読み込めない。
- Limiter No.6 VST プラグインを読み込むとエラーが発生する。
- プレーヤーウィンドウでクリップマーカーが表示されないことがある。
- クリップをトリムすると In/Out 点がなくなり、プレーヤーウィンドウで再生できなくなることがある。
- EDIUS の終了操作をしているにもかかわらず、オートセーブが実行されることがある。
- GXF エクスポート時、レンダリング中にネットワークケーブルの挿抜をすると GXF エクスポーターが強制終了する(Elite のみ)。
- 素材クリップのデレイロード中にプロジェクトファイルの保存をすると EDIUS が強制終了する。
- 異なるフレームレートの素材がタイムラインにあると、エクスポート時にアンシラリーデータが保持されない。
- フレームレートの変換が行われると、マーカー情報が保持されない。
- 特定のデッキに対して RS422 で FF 操作をすると、一時停止できない(HDWS/Elite シリーズのみ)。

更新履歴(b962 不具合修正項目)

以下の不具合を修正しました。

- パーシャルレンダリングによる AVC-Intra 50 ファイルへのエクスポートを行うと、エクスポートファイルにビデオノイズが表示される。
- 1つの素材を分割してタイムラインに配置したものをグループ化しているプロジェクトを AAF へエクスポートすると正しくエクスポートされない。
- ソースブラウザー(K2(FTP))で、クリップの日付順による並べ替えができない。
- GXF エクスポート時、クローズドキャプションデータが正しく保持されない。
- Windows Media Video へのエクスポート時、フレームサイズを 320x240 に指定すると、16:9 に設定したアスペクト比が 4:3 に変更されてしまう。
- EDIUS 6 で作成したプロジェクトファイルを読み込むと、オフラインクリップの修復ができないことがある。
- EDIUS 5 で保存したプロジェクトを読み込むと、Disc Burner で設定した各種パラメータの内容が保持されない。
- 720x486 サイズへのダウンコンバージョンを伴う Windows Media Video へのエクスポートを行うと、EDIUS が強制終了する。
- 静止画連番のタイムラインクリップをプレーヤーウィンドウにマウントすると EDIUS が強制終了する。
- タイムラインで複数クリップを選択、「選択クリップのレンダリング」を行うと、正しくレンダリングされない。

- EDIUS のプレーヤーへ時差編集クリップ (Growing File) をマウントし、再生すると、約 8 秒で再生が停止してしまう。

既知の不具合

スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

- 現象 スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。
- 回避方法 なし。

プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

- 現象 Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。
- 回避方法 なし。